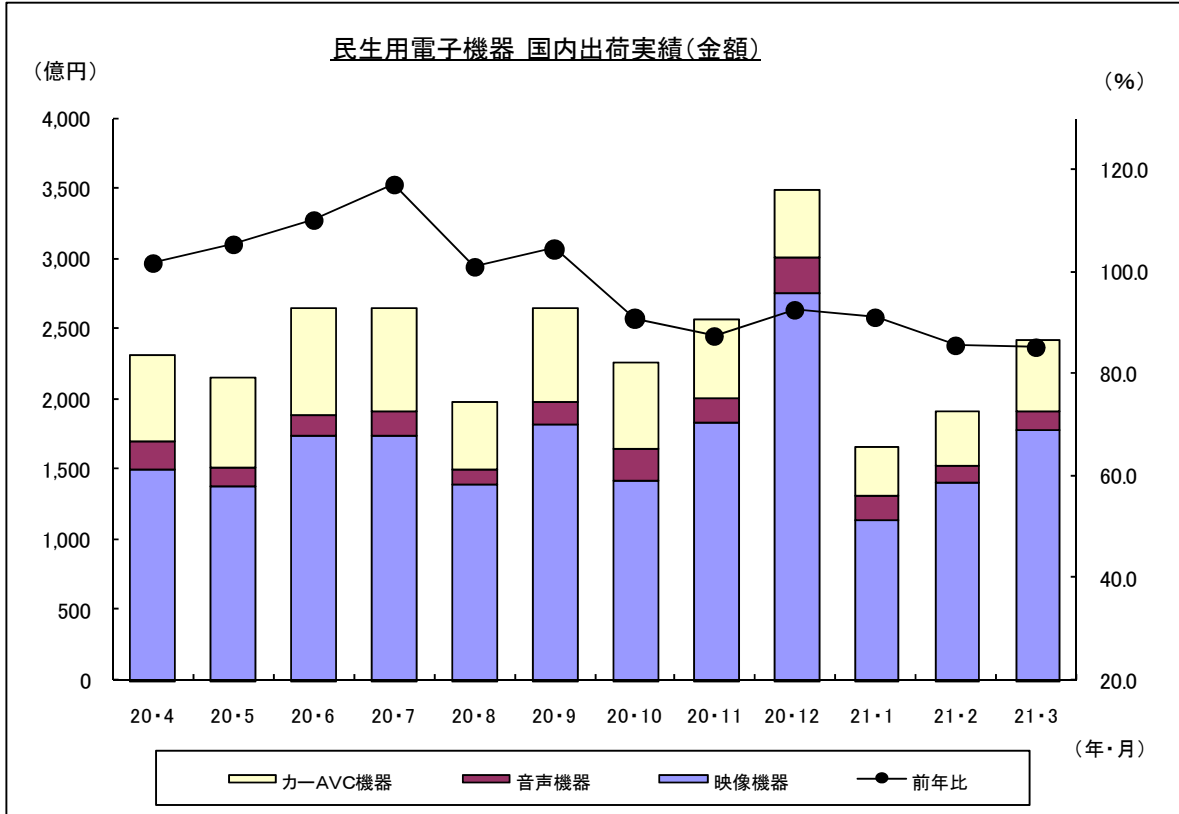


# JEITA

## 全 体 の 動 向



単位：億円、下段斜体字は前年同月比 (%)

	20・4	20・5	20・6	20・7	20・8	20・9	20・10	20・11	20・12	21・1	21・2	21・3
映像機器	1,509	1,385	1,745	1,739	1,401	1,821	1,425	1,834	2,751	1,147	1,405	1,777
	<i>101.3</i>	<i>107.0</i>	<i>112.2</i>	<i>119.4</i>	<i>106.3</i>	<i>108.2</i>	<i>91.3</i>	<i>92.3</i>	<i>96.7</i>	<i>107.3</i>	<i>99.4</i>	<i>95.3</i>
音声機器	198	138	146	179	109	167	223	172	262	175	128	146
	<i>98.2</i>	<i>93.8</i>	<i>104.6</i>	<i>120.4</i>	<i>99.5</i>	<i>85.8</i>	<i>94.1</i>	<i>82.1</i>	<i>92.3</i>	<i>88.6</i>	<i>94.7</i>	<i>82.7</i>
カーAVC 機器	614	633	757	728	470	659	611	567	475	346	387	494
	<i>104.2</i>	<i>104.4</i>	<i>106.6</i>	<i>111.3</i>	<i>88.0</i>	<i>100.4</i>	<i>88.7</i>	<i>75.7</i>	<i>74.1</i>	<i>61.4</i>	<i>55.3</i>	<i>62.2</i>
計	2,321	2,155	2,648	2,646	1,980	2,647	2,259	2,573	3,488	1,668	1,920	2,418
	<i>101.7</i>	<i>105.3</i>	<i>110.1</i>	<i>117.1</i>	<i>100.9</i>	<i>104.5</i>	<i>90.8</i>	<i>87.4</i>	<i>92.5</i>	<i>91.1</i>	<i>85.4</i>	<i>85.2</i>

### 3月の概況

民生用電子機器の3月出荷金額は2,418億円、前年比85.2%と6ヶ月連続のマイナスとなった。2008年度は2兆8,723億円、前年比97.0%となった。

分野別に見ると、映像機器国内出荷金額は、1,777億円、前年比95.3%と2ヶ月連続のマイナスとなった。2008年度は1兆9,940億円、前年比102.1%となった。

音声機器国内出荷金額は、146億円、前年比82.7%と8ヶ月連続のマイナスとなった。2008年度は2,043億円、前年比93.7%となった。

カーAVC機器国内出荷金額は、494億円、前年比62.2%と6ヶ月連続のマイナスとなった。2008年度は6,740億円、前年比85.5%となった。

# JEITA

- 3月のカラーテレビ全体計(GRT+10型以上液晶+PDP)は1,031千台、前年比は112.8%となり、2桁伸長を維持した。3月の構成比(台数ベース)は、10型以上液晶が90.3%、PDPが9.1%、GRTは1%を下回り0.6%となった。
  - 10型以上液晶カラーテレビは931千台、前年比は114.2%の2桁伸長を維持した。うち、99%を占める16:9が921千台、同115.5%、30型~36型が298千台、同131.9%、37型以上は231千台、同101.8%となった。
  - PDPは93千台、前年比127.1%となり3割弱の伸びとなった。引き続き、43型以下がPDP全体数量の7割以上を占めている。
- 
- 3月のDVDビデオは、252千台、前年比58.8%と、12ヵ月連続の前年割れとなった。その内訳は、DVD録再機が110千台、同49.5%、DVD再生機が142千台、同68.8%となっており、録再機が12ヵ月連続、再生機が11ヵ月連続の前年割れとなっている。
  - 次世代光ディスクレコーダ/プレーヤは217千台、前年比282.4%と引き続き好調に推移している。DVDビデオと次世代光ディスクを合わせた光ディスク市場の、数量で46%を占めており、次世代光ディスクレコーダだけでも、その4割以上の規模となっている。
  - ビデオ一体型カメラは148千台、前年比92.8%と前年割れとなった。全体の7割を占めるハイビジョン対応機種は、3月も前年を上回っており堅調であるが、ハイビジョン非対応機種は前年割れが続いており、その落ち込みをカバーできなかった。
- 
- デステレオセットは46千台、前年比56.7%と24ヵ月連続の前年割れとなった。
  - デジタルオーディオプレーヤは455千台、前年比84.2%と4ヵ月ぶりのマイナスとなった。うちフラッシュメモリを使用するタイプは全体の96%、437千台であった。
  - HiFiスピーカーシステムは37千台、前年比113.9%と、29ヵ月連続で前年プラス、25ヵ月連続の2桁成長と、依然好調を維持している。
- 
- カーオーディオは、カーステレオ本体(カセット)が、8千台、前年比22.5%、カーCDプレーヤが274千台、前年比46.1%と大幅なマイナスであった。カーステレオとカーCDプレーヤの合計は281千台、前年比44.8%であった。
  - カーカラーテレビは39千台、前年比33.9%と8ヵ月連続のマイナスとなった。カーDVDは10千台、同29.7%と6ヵ月連続の大幅なマイナスになっている。
  - カーナビゲーションシステムは339千台、前年比72.5%と6ヵ月連続のマイナスであった。ソース別構成比は、CD/DVD-ROMタイプが9.7%、HDDタイプ(その他)が90.3%であった。
  - ETC車載ユニットは844千台、前年比208.6%の大幅なプラスとなった。